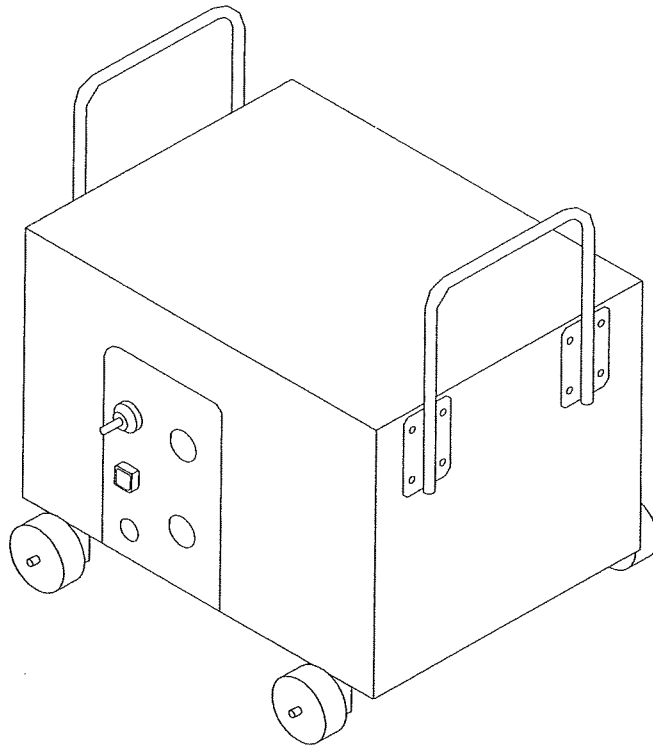


取扱説明書

OP-102R

オイルポンプ



警告

製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用ください。
この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管してください。

まえがき




この度は「オイルポンプ OP-102R」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用ください。
取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等を、よく読んでご使用頂かないと、十分に能力を発揮できないばかりか、人身事故につながりますので、充分理解した上で正しく使用してください。
お買い上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社まで問い合わせしてください。
尚、取扱説明書及び警告ラベル等は大切に使用してください。
万一、紛失・汚損された場合には、速やかに購入して頂き、正しく保管又は貼付してください。



警告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。

警告表示は安全作業のための重要な事柄です。
人身事故や財物損害防止のために重要な事柄が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

-  危険 … 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷及び火災等重大な物的損害を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
-  警告 … 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷及び火災等重大な物的損害を負う可能性が想定される場合。
-  注意 … 取扱いを誤った場合に、使用者が損害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

目 次

1.	使用目的	1
2.	危険・警告事項	1
2.1	危険・警告事項	1
2.2	危険・警告ラベルの貼付位置及び内容	1
3.	仕様	2
4.	本体各部の名称及び構造	2
4.1	本体各部の名称	2
4.2	配管図	3
4.3	配線図	3
4.4	安全装置	3
5.	使用方法及び使用上の注意	4
5.1	付属品の確認	4
5.2	設置上の注意	4
5.3	使用上の注意	4
5.4	使用方法	4
6.	保守・点検	5
6.1	点検時の注意	5
6.2	フィルター清掃方法	5
6.3	故障と処置	6
6.4	アフターサービスについて	6
7.	商品保証規定	7

危険・警告・注意項目

	項 目	危険	警告	注意	ページ
1	本体にはアースを設置して、電源には漏電遮断器を設置すること	○			1
2	ガソリンは絶対に吸入しないこと	○			1
3	取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること		○		表紙
4	転倒しない様、設置すること			○	4
5	本機を移動させる時、転倒しない様、手摺りをしっかり持つこと			○	4
6	電源コードは踏まないこと			○	4
7	タコ足配線はしないこと			○	4
8	点検時は電源スイッチを切ること			○	5
9	機械を改造しないこと			○	5
10	修理時は電源スイッチを切ること			○	6
11	故障、破損した場合は、使用しないこと			○	6
12	機械に雨、水等をかけないようにしてください			○	7

1 使用目的

本機はオイルの移送を目的とするオイル専用ポンプです。

2 危険・警告事項

2.1 危険・警告事項



危険

《感電事故の防止》

- 機械本体にはアースを設置して、電源には漏電遮断器を設置すること

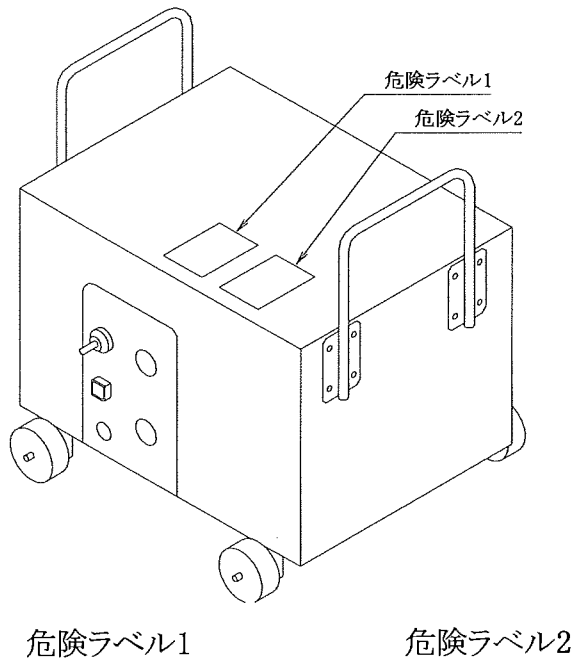


危険

《爆発、火災事故の防止》

- ガソリンは絶対に吸入しないこと

2.2 危険ラベルの貼付位置及び内容

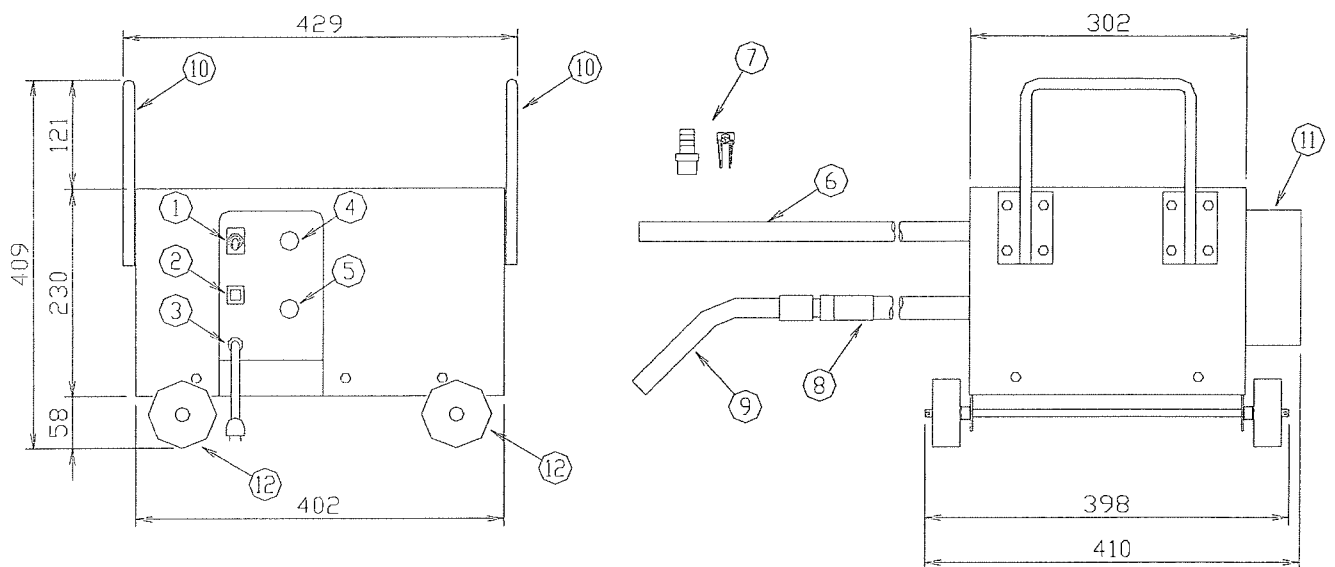


3 仕様

型式	OP-102R	吐出口	1/2B 耐油ホース3m
ポンプ	特殊ギヤーポンプ	吐出量	13L/min(油温、油種により異なる)
モーター	AC100V 4P 400W	吐出圧	0~0.35MPa
サーキットプロテクター	10A	機体寸法	W429×D410×H409
電源コード	1.25mm ² ×7m	機体重量	約35kg
吸入口	1/2B 耐油ホース3m	使用オイル	一般オイル及び廃油

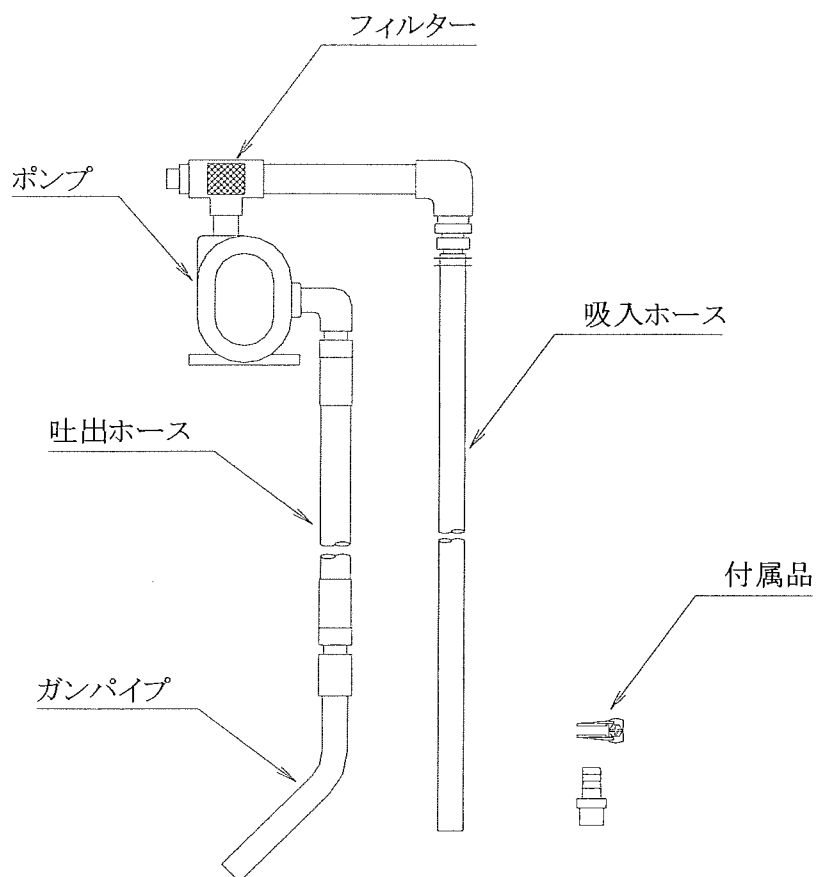
4 本体各部の名称及び構造

4.1 本体各部の名称

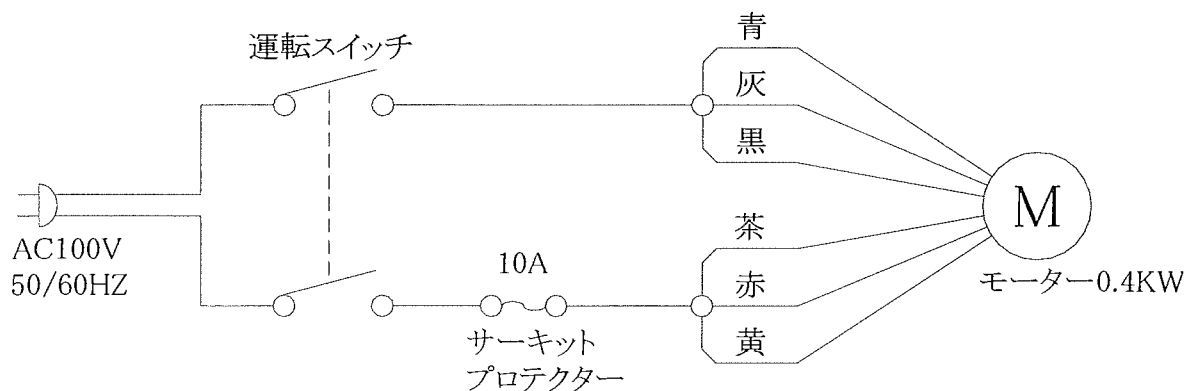


1	運転スイッチ	7	付属品(ホースニップル、ホースバンド)
2	サーキットプロテクター	8	吐出ホース 1/2B 3m
3	電源コード	9	ガンパイプ
4	吸入ホース出口	10	手摺り
5	吐出ホース出口	11	ホース受け
6	吸入ホース 1/2B 3m	12	ゴム車輪

4.2 配管図



4.3 配線図



4.4 安全装置

(1) アース

電源コードのうち、1本(緑色)はアース線となっており、差し込みプラグ部のアースクリップを設置させることによって、感電を防止することができます。

(2) サーキットプロテクター

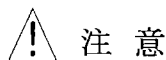
配線に過電流が流れた場合、サーキットプロテクターが作動し、配線を保護します。

5 使用方法及び使用上の注意

5.1 付属品の確認

- 1) 標準機
 - φ24ホースバンド 1個
 - 1/2Bホースニップル 1個
 - 取扱説明書
 - 保証書

5.2 設置上の注意

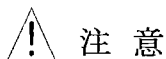


注意

- ・転倒しない様設置すること

- (1) 必ずアース線を接地してください。

5.3 使用上の注意



注意

- ・本機を移動させる時、転倒しない様、手摺りをしっかり持つこと
- ・電源コードは踏まないこと
- ・タコ足配線はしないこと

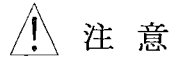
- (1) ガソリンは絶対吸入しないでください。
- (2) ガソリン等が混入した引火性のあるオイルは吸入しないでください。
- (3) 空運転はしないでください。
- (4) 電源コード、吸入・吐出ホースを引張って機械を引き寄せないでください。
- (5) 吐出量は油温により大きく異なります。
- (6) 使用オイルは0℃以上で使用してください。
- (7) 電源は、単独で必ず15A以上確保してください。
- (8) 作業終了時は、電源コード、吸入ホース、吐出ホースを巻き取ってください。
(吸入ホースの先端と吐出ホースのガンパイプは、ホース受けに入れてください。)
- (9) 差し込みプラグ部にアースクリップが付いていますので、必ずアースを接地してください。
- (10) モーター保護のため、運転中の電圧が98V以上あるようにしてください。
- (11) スラッジを含む廃油を吸入した後は、白灯油を吸入してポンプにスラッジが残らないようにしてください。

5.4 使用方法

- (1) 吸入ホースをタンクの排出継手に接続し、付属ホースバンドで固定した後吐出ホースのガンパイプを持って、運転スイッチをオンにしてください。

6 保守・点検

6.1 点検時の注意



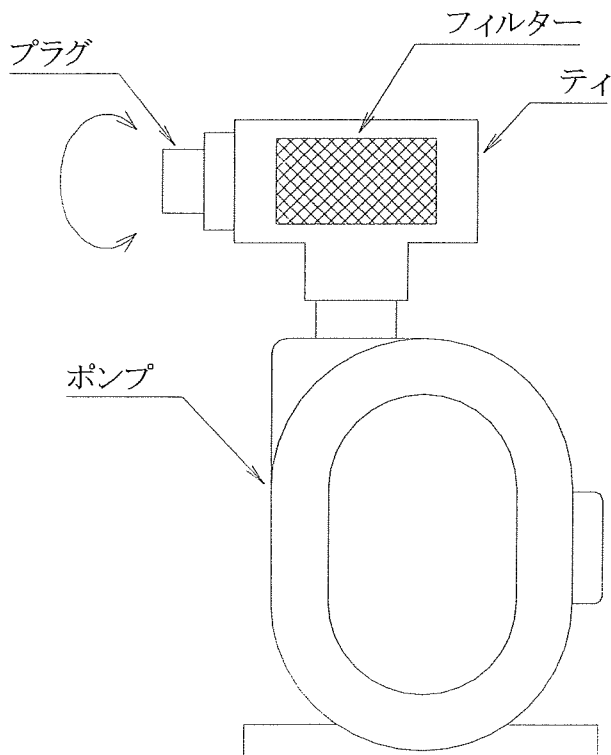
注意

- ・点検時は電源スイッチを切ること
- ・機械を改造しないこと

- (1) フィルターを取り出し、白灯油等で洗ってください。(3ヶ月に1回)
スラッジを含む廃油を吸入した後は、必ず洗ってください。
吸入量が少なくなった時は早めに洗ってください。
- (2) Vベルトの張りを点検、調整してください。(6ヶ月に1回)

6.2 フィルター清掃方法

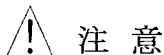
- 1) ケースをはずします。
- 2) プラグを左に回してはずし、ティの中からフィルターを拔出して、白灯油等で清掃してください。
- 3) フィルターが変形したり、ずれないように挿入してください。
- 4) シールテープを巻きなおしてから、プラグを右に回して取付けてください。



6.3 故障と処置

「故障かな」と思われる前にもう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読みいただき、下記の点検をした上で、それでも不具合な場合は、お買い上げの販売会社へご相談ください。

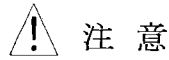


- ・修理時は電源スイッチを切ること
- ・故障、破損した場合は使用しないこと

故障内容	原因	処置
モーターが回らない	電源が入っていない	電源を入れる
	サーキットプロテクターが作動している	リセットする
	モーター不良	交換
	結線部がはずれている	締め直す
	コードの断線	交換
	運転スイッチ不良	交換
モーターは回すがガンパイプからオイルが出ない 又、流量が少ない	吸入ホースがタンクに接続されていない	接続する。
	タンクにオイルが入っていない	オイル確保
	プーリーが空回りしている	セットボルトを締め直す
	ベルトがゆるんでいる	張り直す
	接続部のエアーモレ	締め直す
	オイルが冷えている	オイル温暖
	フィルターの目詰まり	分解清掃
	ポンプの磨耗	交換
サーキットプロテクターがよく作動する	ベルトの張り過ぎ	張り直す
	モーター焼損	交換
	配線短絡	短絡部修理
	ポンプ内部への異物混入	交換

6.4 アフターサービスについて

- (1) 調子が悪い時 まず、この取扱説明書の「故障と処置」の項目をもう一度ご覧になって調べてください。
- (2) それでも調子が悪い時 商品保証規定に基づいて修理させていただきますのでお買い上げの販売会社へ修理を依頼してください。
- (3) 保証期間中の修理について 保証期間は納入後1ヵ年です。
商品保証規定に基づいて修理させていただきます。
- 保証期間後の修理について お買い上げいただきました販売会社へご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有償修理をさせていただきます。
- (5) アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただきました販売会社へお問合せください。
- (6) お問合せの際は次の事項をお知らせください。
オイルポンプの型式、機体番号、購入年月日、故障状況(できるだけ詳しく)



注意

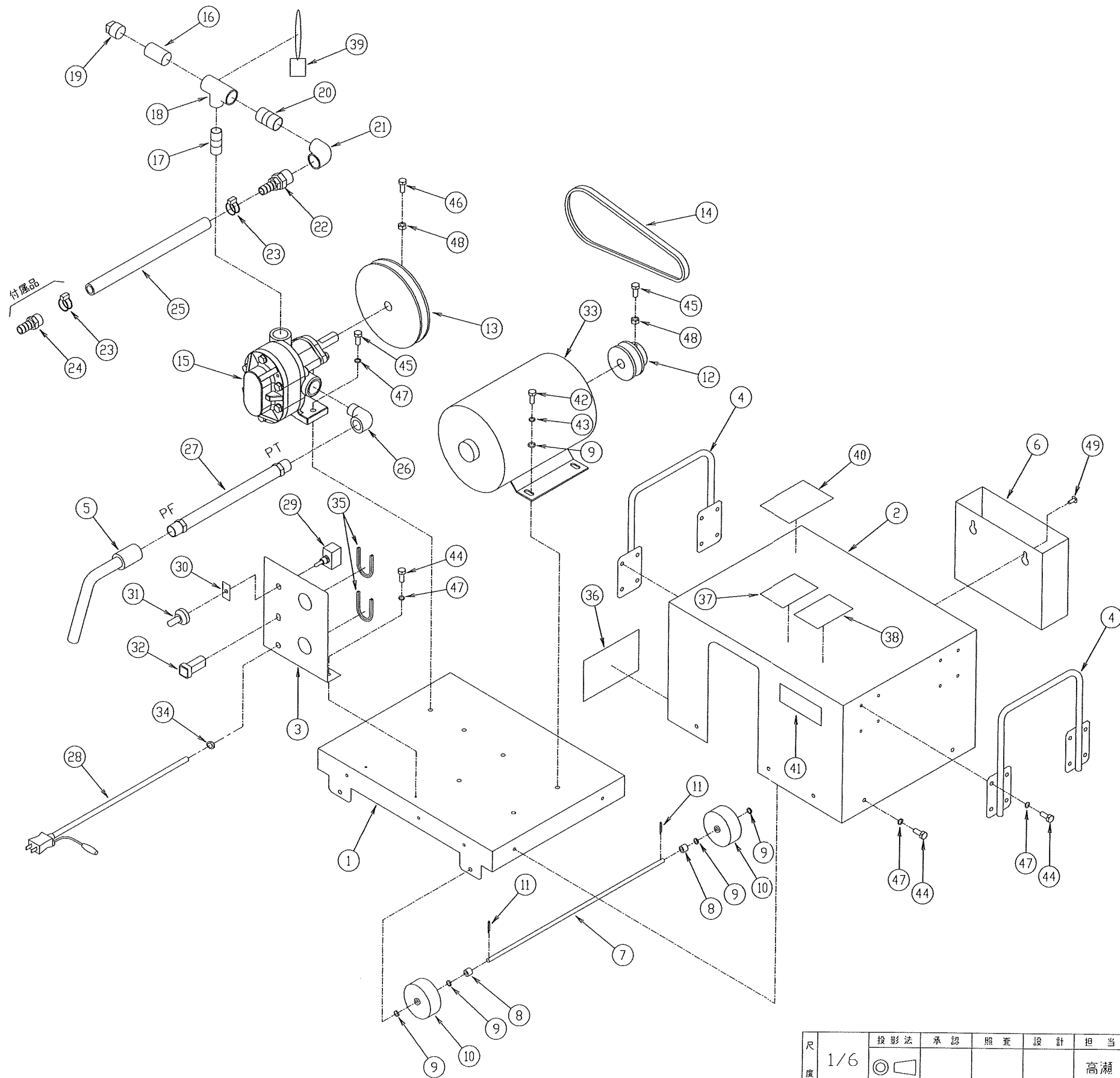
この機械は、屋外仕様ではありません。機械に雨、水等をかけないようにしてください。
この注意を怠りますと、機械部品の寿命を著しく縮めてしまいます。
錆、腐食及び漏電等の故障の保証はしていません。

取扱説明書、注意ラベル等の注意書に従って、正常な使用状態で保証期間は納入後1ヵ年とする。但し、下記事項を含む二次的に発生する損失の補償及び次に該当する場合の故障は保証対象外となります。

- 1) 使用上の誤り(本取説に記載されていない方法も含む)、保守点検及び保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- 2) 商品に変更(改造)を加えた機械で発生した故障及び損傷。
- 3) 消耗部品が損傷し、交換を要する場合。
- 4) 火災、落雷、地震、風水害、塩害、ガス害、戦争及びその他の天災地変等外部に要因がある故障及び損傷。
- 5) 指定された純正部品をご使用されなかった事に起因する場合。
- 6) 日本国以外で使用される場合。
- 7) 保証手続きが不備の場合(例:型式及び機体番号の連絡がない場合等)
- 8) 設置に原因がある故障及び損傷。
- 9) お買い上げ後の落下及び運送上の故障及び損傷。
- 10) 供給する電源が本取説が要求する条件を満たしていない場合。

なお、本商品及び、その付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然消耗する部品及び、消耗品については、保証の適用は除外させていただきます。

メモ



49	*	トラス小ねじ	2	M6×10
48	*	六角ナット	2	M6
47	*	バネ座金	29	M6
46	*	六角ボルト	1	M6×30
45	*	六角ボルト	3	M6×25
44	*	六角ボルト	27	M6×10
43	*	バネ座金	4	M8
42	*	六角ボルト	4	M8×20
41	*	パーマンラベル	1	L-1396
40	*	フィルター清掃方法ラベル	1	044017
39	*	フィルターラベル	1	L-8012
38	*	ガソリン厳禁ラベル	1	L-8035
37	*	漏電遮断器ラベル	1	L-8034
36	*	社名板(パーマンコーポレーション)	1	L-9004B
35	*	ELフリープッシュ	2	SG-24L
34	*	グロメット	1	KG-178
33	*	モーター	1	SKD-DBKK2 S80M
32	*	サーキットプロテクター	1	CP-101P 10A
31	*	ゴムキャップ	1	WD1911
30	*	表示板 ON-OFF	1	WD1901
29	*	スナップスイッチ	1	WD1211
28	*	電源コード	1	VCTF3C/1.25 7m 7-70057付
27	*	耐油ホース	1	PA0308 口金付
26	*	メスオスエルボ	1	1/2B
25	*	耐油ホース	3.0	ST-15
24	*	ホースニップル	1	1/2B
23	*	ホースバンド	2	φ24
22	*	ホースユニオン	1	3/4B×φ16
21	*	エルボ	1	3/4B
20	*	両ニップル	1	3/4B×50L
19	*	プラグ	1	3/4B
18	*	径違いティ	1	3/4B×1/2B
17	*	バレルニップル	1	1/2B
16	*	フィルター	1	S-1002-1
15	*	ギヤポンプ	1	GP-1
14	*	Vベルト	1	A-26
13	*	ポンププーリー	1	V-050A13
12	*	モータープーリー	1	V-025A13
11	*	割りピン	4	φ3.2×14
10	*	ゴム車輪	4	RM-75
9	*	平座金	12	M8
8	*	カラー	4	B3-1018-2
7	*	車軸	2	B3-1018-1
6	*	ホース受け	1	B3-1015
5	*	ガンパイプ	1	043015
4	*	手摺り	2	043014
3	*	ブラケット	1	043013A
2	*	カバー	1	042012A
1	*	台車	1	042011A
品番	コード	名 称	員 数	備 考

尺 寸	1/6	投影法	承認	照 査	設 計	担 当	製 図
度	◎□					高瀬	
製 品	オイルポンプ			図 番	042007		
型 式	□P-102R				分解図		
	17年 1月 6日		A2	株式会社 岡常歯車製作所			